



明けない夜はない

同窓会会長 長谷川 孝



一昨年から今年にかけコロナウイルス感染拡大防止のため、三度の緊急事態宣言が発出されました。令和二年度は同窓会の主な事業である「三十年集いの会」、「クラス会」、「還暦の会」、「総会」、「文化祭等の学校行事」など同窓生が集う機会を持てませんでした。その中で永吉信夫（第九期生）奨学会は、生徒の学業の向上、大学進学、また文化活動の充実・発展の一助として八名の生徒への奨学金、三つの部活動、KTベクトルプロジェクトへの助成金を給付できたことを報告いたします。（年額一五〇万円）コロナ禍の中であつても、「私たちが実現したい未来」のビジョンを明確にして一人ひとりが「今、何をすればいいのか」を考え、行動することだと思ひます。

さて、先日栃木市倫理法人会の例会で同窓会についてのスピーチをいたしました。テーマは「同窓生の志」です。八年前に病に侵され余命を宣告された友人の永吉君から母校に三千万円の寄付の相談をされたことです。彼は東京で中学受験専門の家庭教師派遣会社を経営していて、常に母校を見ていました。そこで、どのような寄付の仕方が生徒に良いかを同期の仲間と学校とで協議を重ね、日々努力している生徒や経済的に困窮している生徒に、奨学金の給付と文化部の生徒が楽しく生き生きと活動できるように助成しようと思ひました。この時から私は真剣に同窓会活動に取り組むことになりました。今回の会報「むらさき」は、コロナ禍の中でも母校の教職員の皆さんが一丸となつて生徒一人ひとりの指導に取り組んでいることを同窓生の皆さんに伝えたいと思ひます。加えて来年の同窓会設立六十周年に向けて講演会、祝賀会、親睦ゴルフ大会などを計画している

発行者
國學院大學
栃木高等学校
同窓会
(〒328-8588)
栃木市平井町608番地
電話 0282-22-5511

第 44 号

新たな伝統を 築くために

学校長 青木 一男



令和二年度を振り返りますと、まさに新型コロナウイルスとの戦いでした。前年度の三月から三か月に渡る休校、学校が再開しても検温、マスク、手指消毒などの感染防止策を講じつつ、神経を使いながら授業を受ける我慢の日々、学校行事も修学旅行の中止に始まり、あの國學院祭と呼ばれる文化祭・体育祭など様々なものが中止、

また、これまで毎日苦しい練習にも耐え、必死になつて努力し、集大成として臨むはずであつた部活動の大会もほとんどが中止、実に多くのことが奪われていきました。生徒たちは、戸惑い、焦り、失望を何度感じてきたことでしょう。

しかし、休校中にWeb教材を使用したり、先生方とインターネットでつながりながら一生懸命に勉強、登校できるようになつてからは、今まで以上に熱心に早朝から放課後遅くまで自学自習をしたり、先生方に積極的に質問する姿が見られました。その結果、東大、一橋、東北、早慶上智などの難関大学に多数合格という進学実績を収めることが出来ました。また、部活動でも、年末年始に実施された全国大会にバレーボール部が三十四年連続、ラグビー部が二十一年連続で出場し、全国の舞台で活躍しました。このように生徒たちは逆境に負けることなく、マイナスをプラスに変えていきました。そこにこそ、國學院大學栃木高等学校が六十年の歴史の中で大切に培ってきた教育、いわゆる「鍛える教育」の成果が表れているのです。

さて、今年度も、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大は収束していません。しかし、私たちは昨年度の経験を生かしながら、様々な制限の中で、出来る方法を探し、物事に積極的に取り組んで



います。中でも来年度には学習指導要領が改訂されるなど、教育が大きく変わり、生徒には、これらの時代を生き抜いていくための力を身に付けさせなければなりません。そのため、今までの國學院栃木が実践してきた教育を基に、現在、授業改革、ICT教育の充実、探究学習の推進に力を入れています。その成果は、生徒が日ごと、主体的に学ぶようになっていく姿勢に見られ、本校が確実にステップアップしていることを実感しているところです。

最後に、昨年度亡くなられた木村好成理事長のご冥福をお祈りすると共に、先生が五十四年に渡って掲げてこられた教育の理想をさらに一つひとつ実現させていくよう、皆が一丸となつて取り組んでいくことを改めて誓いたいと思ひます。

理事長木村好成先生の教えを胸に

学校長 青木一男

理事長木村好成先生が、令和二年十一月十四日、栃木市内の病院でご病氣のため逝去されました。享年八十八歳。先生が亡くなられた一か月ほど前に、創立六十周年記念式典が行われましたが、その時が、先生が公の場で話をされた最後でした。その頃には、ご病氣のため壇上に立つて式辞を述べられるには非常に厳しい状況でした。しかし、最後まで本学園の歴史、佐々木周二先生、そして建学の精神について熱く語られました。その時、先生はどういう思いで語られていたのか、当時を思い浮かべると何とも言えない気持ちになります。おそらくその式辞を述べることによって、私たち教職員に学園の将来を、そして生徒たちには日本の未来を託されていたのではないのでしょうか。

学園の発展と共に

先生は昭和七年十月、東京生まれ。小学校二年生の時、お父様の仕事の関係で中国に渡り、中学一年生で終戦を迎え、北海道の札幌に引き揚げて来られました。そして、道立札幌南高等学校から國學院大學に進学、卒業の年の昭和三十一年四月に、國學院大學久我山高等学校の教諭として奉職されました。



佐々木周二先生（左）と共に平成13年度創立記念式典に臨む木村好成先生（右）

久我山に十年間勤められた後、久我山と本校の校長でいらした佐々木周二先生（初代学校長、後に本学園理事長・学園長）の命により、昭和四十一年に開校された國學院大學栃木短期大学の開校準備本部員として本学園に出向し、同四月、事務次長・短期大学学生課長に、同五十一年に短期大学学監補、五十七年学園事務局長、五十八年に理事に就任。六十三年に二杉幼稚園長、平成二年二月常務理事就任、同六年から二十三年三月まで高等学校長、八年四月より十四年三月まで中学校長。平成十五年四月、本学園理事長に就任されました。このように短期大学、高等学校、中学校、幼稚園そして学園全体を含め全ての組織でトップに立つて指揮を執られ、五十四年間に渡り学園の礎を築くと共に、

その発展に尽力されました。

中でも、常に最高水準の教育環境を維持したいという思いから、高等学校長になられたからだけでも中学校校舎、野球場、四十周年記念館、学園教育センター、そして近年では、人工芝のラグビー場、男子寮である「好文寮」という施設・設備の拡充に力を注がれたのです。しかし、先生のお力は、見える形のものより、むしろ見えない形で発揮されていたように思います。高等学校も現在、県下でも有数の進学校、部活動が盛んな学校、そして、礼儀が正しい学校などと言われるまでに成長しました。このような道を歩んで来ることが出来たのも、その時々の節目に先生のご決断・ご判断があったお陰であり、現在の学校の姿は、先生が常に将来を見据えて学園を考えてこられた結果なのです。

柔道一途

先生を語る上で、欠かすことの出来ないことが幾つかありますが、その一つに「柔道」があります。小学校五年生の時に柔道に出会い、そこから一途に柔道に取り組まれ、高校の柔道部では、選手兼監督として主将として、チームを全道大会で準優勝に導くなどの活躍、大学でも四年生の時には主将を務めるなど、ご本人曰く、柔道部での生活を中心に大学生生活を送られました。その後、久我山で社会科と共に正課の柔道を教えていただいたのです。もちろん本校の柔道

部も大変お世話になったことは言うまでもありません。本当に柔道がお好きで、そのことは八十歳を過ぎたお年になっても、全日本柔道選手権大会を、毎年お一人で電車に乗って観に行かれていたことから分かります。ちなみに、先生は、講道館柔道七段、柔道関係の著書に『柔道教程』（イブキ社）、『新柔道教程』（上口孝文共著 大学教育社）があります。

ところで、先生は校長講話の中で、「精力善用」という言葉を何度か使われていました。これは、教育者であり近代柔道の創始者で、初代講道館館長嘉納治五郎先生が揮毫され、講道館の道場に額に入れて掲げてある言葉なのです。この言葉から先生は、「自分というものが完成されていない年代にあつては、常に世の中から種々のことを学びながら人間性を磨くという謙虚さがなければならぬ。学びの心の根底には、常に『善』の心が必要であると嘉納先生は教えられているのである」とおっしゃっています。これは一つの例ですが、柔道から学ばれた精神が、先生の教育観を形作っていたことは間違いないのです。

佐々木周二先生

先生は人との「縁（えにし）」を大切にされていました。それは先生ご自身が、様々な人々との出会いがあつて今の自分がある、よくおっしゃってたことから伺えます。特に、佐々木周二先生と

の出会い、運命的なものでした。佐々木先生から多くの薫陶を受けたということですが、久我山の教員時代に、佐々木先生の勧めで二年間に渡って東京教育大学教育学部で、学校経営・管理について学ぶ機会を得られたことが、生涯を通じて非常に役に立っていると語られていたのを聞いたことがあります。その後、佐々木先生から栃木に行くように命じられるわけですが、佐々木先生は、すでに木村先生のお力を見抜き、管理職・校長職として必要なものを身に付けさせ、後を任せるおつもりであつたのだと思います。

その佐々木先生ですが、まさに学園の祖であり、佐々木先生抜きでは、國學院栃木の教育を語ることはできません。その佐々木先生の教育は、國學院大學の建学の精神を國學院栃木の教育の根本に据え、「頭と心と体の力の三つの力をバランスよく鍛える」、つまり「鍛える教育」なのです。その佐々木先生の教えは、今も脈々と「佐々木教育」として歴代の学校長によって受け継がれています。その中でも一番近い関係であり、理想の師弟関係にあつた木村先生は、多くの場面で、佐々木先生のご生涯、そして教育を語り、その教えを基にこの学園を築き上げられたのです。

木村先生の思い

最後に、木村先生が教育にかけける思いを、嘉納治五郎先生の言葉を引用して述べられている文を紹介

介します。『教育の事、天下にこれより偉なるはなし。一人の徳教
廣く万人に加わり、一世の化育遠く
万世に及ぶ』、このように、教育
は大事な仕事である。次代に国
を担う若者を育てるための、国に
とつても個人にとつても最も大事
な仕事と言わなければならぬ。
強く大きな責任を感じながら、己
の情熱を傾けている私であるが、
生き甲斐を感じ、働きたいを感じ
る所以である』。

私たちは、この先生の思いをし
っかりと胸に刻み、これからも
生徒一人ひとりの可能性を信じ、
校訓の「たくましく 直く 明る
く さわやかに」の精神を備えた
次世代のリーダーを育てていき
たいと思います。

國學院大學栃木学園第五代理事長 川福 基之 先生 紹介



神奈川県横浜
市出身。國學院
大學文学部文学
学科卒業。國學
院大學久我山中
学高等学校（国語科）に着任後、平成十一年
國學院大學久我山中学高等学校第八代校長
に就任。その後、國學院大學理事、久我山
中学高等学校学事顧問を歴任し、平成二十
八年四月、名誉校長に就任。平成二十七年
度より学園理事、平成二十八年度、中学校・
高等学校校長。平成二十七・二十九年度より
令和二年十一月まで学事顧問。令和二年
十二月三日付をもって理事長就任。

令和三年度同窓会総会（幹事会）

毎年六月頃開催する総会ですが、コロナウイルス感染が
未だに収まらず、さらに新型変異株が発症していることを
鑑み中止といたしました。そこで次のような方法で議事を
承認していただくことにしました。まず令和三年五月十日
会計監査を行いました。その報告を受け、五月十四日（金）に
四役会（会長・校長他十一名出席）を開き総会資料を検討
し、完成させました。五月二十九日に本部役員会（三十五
名）を開催し承認をいただきました。そして、六月十五日
（火）にクラス幹事の皆さんにハガキにてそれまでの経緯と総
会中止をお知らせし、ご了承いただくことをお願いいたし
ました。

※同窓会ホームページに令和三年度総会資料を掲載
しました。この機会に是非ご覧ください。



令和3年度同窓会一般会計収支予算(案)

収入の部					(単位:円)
項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減額	備 考	
前年度繰越金	5,879,729	2,469,647	3,210,082		
会費	入会金(本年度卒業生)	943,000	840,000	103,000	2,000円×473名
	30年会費(本年度卒業生)	11,825,000	10,500,000	1,325,000	25,000円×473名
	30年会費(既卒者)	1,000,000	1,000,000	0	20,000円×50名
	可会費(既卒者)	100,000	100,000	0	2,000円×50名
基金会計より繰り入れ	0	0	0		
雑 収 入	100,000	100,000	0		
合 計	19,647,729	15,009,647	4,638,082		

支出の部					(単位:円)
項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減額	備 考	
運営費	印刷費	150,000	150,000	0	総会室内状印刷 他
	通信費	2,100,000	2,000,000	100,000	会報送料 他
	消耗品費	300,000	300,000	0	事務用品 他
	支払手数料	40,000	40,000	0	振込手数料 他
	公租公課	0	0	0	収入印紙
	会議費	150,000	150,000	0	総会・本部役員会・四役会
事業費	会報発行費	1,100,000	950,000	150,000	
	学園助成費	1,500,000	1,500,000	0	
	30年集い・進学の会助成費	600,000	600,000	0	
	クラス会助成費	600,000	600,000	0	20,000円×30クラス
	補助費	600,000	600,000	0	
渉外費	記念品費	1,419,000	1,263,000	156,000	卒業記念品(3,000円×473名)
	広告費・広報費	400,000	400,000	0	TV・PV・部活 他
庶務費	謝礼金	100,000	100,000	0	
	市町税	50,000	50,000	0	
	見舞金	20,000	20,000	0	
	通信費	20,000	20,000	0	
	基金会計繰入金	4,000,000	0	4,000,000	
積立金	部活動後援積立金	500,000	500,000	0	
	国学院創立60周年記念事業 積立金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
	高校創立70周年記念事業 積立金	1,000,000	1,000,000	0	
	牛 備 費	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
	次年度繰越金	1,998,729	1,766,647	232,082	
合 計	19,647,729	15,009,647	4,638,082		

令和3年度同総会本部役員・事務局

役 員 相 談 役	川福基之 (理事長)*	* = 新任		
名誉会長	青木一男 (校長)			
顧 問	飯村友季子 (教頭)	實島範朗 (教頭)*		
本部役員	会 長	長谷川 孝 (9期)		
	副 会 長	佐藤和男 (5期)	増山一夫 (5期)	柏崎和己 (7期)
会 計	荒川浩幸 (21期)			
	星野充江 (15期)	北井達也 (24期)	海老沼信子 (31期)	
総 務	山中日富美 (22期)			
	吉田和夫 (5期)	大竹幾子 (5期)	神島国治 (7期)	
事 務 局 主 任	神島 馨 (9期)	福島洋二 (15期)	福島正浩 (16期)	
	片岡弘美 (16期)	川島正光 (17期)	高橋俊一 (17期)	
	藪下和弘 (17期)	若林弘美 (17期)	渡邊俊夫 (18期)	
	鎌倉博幸 (19期)	保戸山陽一 (19期)	岩下浩之 (21期)	
	斎藤 健 (21期)	増淵宏和 (22期)	柳田章芳 (23期)	
	飯沼邦章 (24期)	中村亜紀 (25期)	岡部秀幸 (26期)	
	須田尚男 (28期)	神山拓之 (29期)	漆原康史 (31期)	
	横地夏彦 (24期)			
	田原千晶 (30期)	野村拓矢 (38期)	木村圭佑 (41期)	
	高山洋太 (46期)	佐藤鷹史 (46期)	塩谷隼冬 (50期)	
	長山航貴 (54期)			

令和二年度 退職教職員

《教員》		《職員》	
石田 敬資	鵜澤亜希子	北原 昭子	安塚 孝昭
岡田 有平	荻原 秀昭	芹澤 玲子 (十一期生)	
國安 裕司	坂本 充正	野口 由江	
仁木 良和	丸山 芳史		
宮田 夏湖 (五十二期生)			
村田 真一			

お世話になりました、
ありがとうございました。
(敬称略五十音順)

同窓会設立60周年記念事業

同窓会は来年令和4年度に設立60周年を迎えます。記念事業として、講演会や祝賀会等下記のとおり開催するため、いくつかの事業部を作り準備を始めたところです。①記念講演会：シンガーソングライターのさだまさしさんをお招きし、学園四十周年記念館で開催する予定です。②記念祝賀会：栃木サンプラザ会館で開催予定です。

いずれも、10月～11月の秋開催を予定しています。この他、チャリティーゴルフ大会も企画中です！進捗状況は、ホームページでお知らせしたいと思います。一緒に事業を進めていただけるボランティアスタッフも募集しております。お気軽にお問い合わせください。



▶スタッフ募集
フォーム

<https://forms.gle/MnnfJS7MQnPKjZGt9>

還暦の会

十七期生の還暦の会について、校内幹事の阿部泰江さんからコメントをいただきました。

「昨年還暦を迎えた十七期生ですが【集いの会】についてのお問い合わせが多数ありました。クラス幹事等で検討した結果、コロナ禍の状況に鑑み『時期を見て開催する予定』といたしましたのでお知らせします。まだまだ気が抜けぬ日々が続きますが、いつか皆様の笑顔が見られますよう、ご自愛くださいませ。」

クラス会

残念ながら昨年度はクラス会が一件も開催されませんでした。いつかまた、たくさん開催されることを楽しみにしております。皆さん、今から準備をしておいてください。

お知らせ

クラス会は1年から3年まで、どのクラスも対象となります。還暦の会もクラス会も所定の用紙による事前申請が必要になりますので、まずは、お気軽にお問い合わせください。
TEL: 0282-22-5511 (代)
MAIL: yamanaka@kokugakuintochigi.ac.jp

卒業三十周年集いの会

昨年二十八期生は、コロナ禍のため、集いの会を延期せざるを得ませんでした。開催を目指して、名簿の整理等準備を進めていまして、代表の鈴木貴之さんから次のようなコメントをいただきました。「各クラス幹事と意見交換しましたが今回は中止といたします。開催できるタイミングを見計らって改めて結束して開催することになります。」

三十年会費納入者芳名

【令和二年度分】（敬称略）

氏名上の数字は卒業期（一）内は旧姓

「協力ありがとうございます」

- 二万円
- 1 小宮陽子（篠崎）
- 2 落合敏夫
- 3 枝ヨネ（堀江）
- 4 長竹欽悟
- 5 市澤孝一
- 5 稲葉マサ
- 5 水野照三
- 6 小島光男
- 6 遠山まさ子（島田）
- 7 立川晴夫
- 7 出口澄
- 9 新井とみ子（岡田）
- 9 石浜恵子（寺内）
- 9 匿名希望
- 9 田邊みよ子（中島）

- 10 匿名希望
- 10 鶴見孝
- 11 金子昌子（鈴木）
- 11 小林道子（鈴木）
- 12 鈴木晴美（狐塚）
- 12 大柿幹子（飯村）
- 12 萩原茂（青木）
- 12 古川栄子（早瀬）
- 14 川口久江（阿部）
- 14 谷津明美（岡中）
- 16 竹林典子（山田）
- 16 屋代優子（野口）
- 17 井上祐二
- 17 牛久貴子
- 17 鈴木美智子
- 19 石川正幸
- 19 大木和加子（濱崎）
- 19 杵淵雅子（高村）
- 19 福田裕昭
- 20 匿名希望
- 21 石塚由子（藤浦）
- 21 田中晴子（野本）
- 22 兵藤佳余子
- 24 大島秀一
- 25 大越義雄
- 25 大畑芳道
- 25 坂本朋恵（市村）
- 25 砂岡美香（永島）
- 25 二宮久征
- 26 青木秀博
- 26 上原美和
- 26 大杉美穂（鹿島）
- 26 川鍋佳美（杉本）
- 26 初見武英
- 26 林正幸
- 26 平田誠司
- 26 吉江正樹
- 27 石川登志子
- 27 津金順子（外山）
- 27 鶴見秀樹
- 27 ランガール儀子（白井）
- 27 仁平博章
- 27 仁平博章
- 4 川田保
- 5 和知眞知子（月井）
- 22 門井明美（小林）
- 27 高田徹哉
- 27 石郷岡光
- 27 久賀俊秀
- 26 田邊日出幸
- 26 大豆生田元子
- 26 大豆生田元子
- 26 大沼敬
- 25 宮澤達朗
- 25 内藤雅樹
- 24 山本賢
- 23 山口淑子
- 22 比護純子（関塚）
- 22 大橋健一
- 22 石川ゆみ子（三本松）
- 21 田中富太郎
- 20 佐藤有里子
- 20 栗原保典
- 20 加藤優
- 18 中島英樹
- 18 菅沼博
- 18 木村直樹
- 17 岡田恭子（金子）
- 17 新井登代子（中山）
- 16 高橋広美
- 15 駒場哲也
- 15 新井彰
- 13 吉田勝紀
- 13 鈴木林
- 13 吉田好伸
- 11 桑原俊子（赤間）
- 11 福地京子（石川）
- 11 澤田幸雄
- 11 大澤政幸
- 11 宇賀孝夫
- 9 今井不二夫
- 8 齊藤隆裕
- 8 柏崎三男
- 6 柴田徹
- 5 松本悦夫
- 5 大塚光男
- 4 相子カツ子（田村）
- 3 中野ミサ子（白沢）
- 3 鈴木佳雄
- 1 鈴木暁子（加山）
- 15 梅沢静子
- 15 三千円

母 校 の よ う す

12:50 ~ 13:30 昼休み

学校のでの 1 日の中での一番の楽しみは、いつの時代もやはりお弁当の時間。多くの生徒が売店を利用している。密を避けるために商品を分け、3カ所で購入できるようになっている。



16:20 ~ 18:30 放課後

昨年度は新型コロナウイルス流行のために多くの部活動の大会が中止となり、普段の活動にも制限があった。現在も制限はあるものの、感染の予防に努めながら部活動の練習を行うことができている。今夏はインターハイや全国総合文化祭も開催される予定。

また部活動に加入していない生徒も、教室や駅前の学園教育センターにおいて学習に励んでいる。

☆ 在校生の 1 日 ☆

8:45 登校・朝のショートホームルーム

登校したらまず、ホームルームが始まるまでに「前日の学



習時間」と「朝の検温の記録」を iPad を使って各自で入力する。朝の伝達は「Google Classroom」というアプリにも投稿され、それぞれが iPad で確認することもできる。

9:00 ~ 16:20 授 業

1 時限 50 分で 6 時間、または 7 時間授業。同窓会が創立 60 周年記念事業として寄贈したモニターテレビを活用して授業が行われている。現在、新型コロナウイルス感染症予



防のため、全校生が一堂に会しての式が行えないことにより、始業式や全校朝礼等も事前に録画をした校長講話を各教室で視聴するなど、大いに活用されている。

オリンピック女子ラグビー出場

まつだ りんか
松田 凜日 さん

日本ラグビー協会は、東京五輪の 7 人制日本代表を発表し、本校 58 期生の松田凜日選手がチーム最年少の 19 歳で女子代表に初選出された。松田選手は、「選出されて嬉しいが、選ばれなかったメンバーの分もプレーする責任を感じる。毎日の練習の質を高め、メダル獲得を目指すので応援お願いします」と語った。

プロフィール

東京都府中市出身、本校卒業後は日本体育大学に進学し、現在 2 年生である。身長 170cm、体重 74kg、50 m 走 6.6 秒と高い身体能力の持ち主である。



ワールドシリーズに
おける力強い突破
(松田選手提供)

部活動の活躍

新型コロナウイルスの影響で大会の中止が相次いだ。三年生たちの無念を考えると、胸が痛くなる。開催することができた数少ない大会結果を報告する。

運動部

・ラグビー部

第百回全国高等学校ラグビーフットボール大会、十二月二十八日(月)、三十日(水)、東大阪市花園ラグビー場。
▽一回戦 本校 75-7 名護(沖縄)

先制を許すも、最後まで隙を与えないまま、11トライを奪って快勝した。

▽二回戦 本校 5-12 御所実業(奈良)
先制トライを決めた本校であったが、あと一步及ばず悔しい敗退となった。

・バレーボール部

第七十三回全日本高等学校選手権大会(春高バレー) 一月五日(火)、東京体育館。
▽一回戦 本校 1-2 和歌山信愛

大会最多連続出場記録をもって挑んだ本校であったが、第一セットは序盤に連続失点し 15-25 で落とした。続く第二セットはレシーブや速攻が安定し 25-21 と奪い返す。しかし、第三セットは二段トスからの攻撃に苦戦し、終盤の追い上げもむなしく 19 対 25 で敗退した。

文化部

・書道部

第四十四回栃木県芸術祭高等学校書道展

優秀賞(県代表・全国出場)、優秀賞(第六位)、優良賞二名、秀作賞一名

第五十七回創玄書道会主催全国学生書道展

毎日新聞社賞(第五席)、学年優秀賞一名、創玄書道会奨励賞五名

など多数の賞を受賞。

・天文部

第六回日本気象学会ジュニアセッション 2020 参加。
第二十二回日本天文学会ジュニアセッション参加。

令和4年度 中学校・高等学校 生徒募集について

高 校

FOR YOUR FUTURE 未来を拓く

国栃チャレンジ (学力診断テスト)

10月24日(日) 場所／本校キャンパス・学園教育センター(栃木駅前)
入試の雰囲気を経験しながら、学力到達度を判定します。

【判定】①現在の学力(得点・順位等) ②本校の各コースへの合格可能性

【受験型】5教科型または3教科型選択 【受験料】無料

入試説明・相談会

① 9月25日(土) ② 10月9日(土) ③ 10月16日(土)

④ 11月14日(日) ⑤ 11月23日(火・祝)

⑥ 12月4日(土) ⑦ 12月12日(日)

時間／14:00～

場所／本校キャンパス ※⑥⑦は学園教育センター(栃木駅前)

入学試験

第1回 1月6日(木) 一般入試(単願・併願)

推薦入試(単願)

体育技能入試(単願)

第2回 1月7日(金) 一般入試(単願・併願)

第3回 1月30日(日) 一般入試(単願・併願)



中 学 校

Challenge! 可能性に挑戦

入試説明・相談会

① 7月10日(土) ② 8月22日(日) ③ 9月4日(土)

④ 9月25日(日) ⑤ 10月9日(土) ⑥ 10月30日(土)

⑦ 11月6日(土)

時間／10:00～

場所／本校キャンパス ※⑥は14:00～ 学園教育センター

入学試験

第1回 11月27日(土) 自己推薦入試(単願)

一般入試(単願・併願)

第2回 12月11日(土) 自己推薦入試(単願)

一般入試(単願・併願)

英語入試(単願・併願)

適性検査入試(単願・併願)

第3回 1月18日(火) 自己推薦入試(単願)

一般入試(単願・併願)



國學院祭

文化祭 → 文化部発表会 9月11日(土) 場所／本校キャンパス

体育祭 → 校内競技大会 9月18日(土) 場所／本校キャンパス

※なお、変更となった行事は一般公開せず、校内のみの実施となります。

※問い合わせ 入試広報部 TEL 0282(25)5020